

市指定史跡

### 塔ノ岡古墳 (S58.1.6 指定)

この古墳は、直径約 14mの円墳で、古墳時代前期に造られました。1953 年頃に墳丘頂部で箱形石棺が確認されました。石棺は南北方向に主軸を持ち、北側の幅 0.4m、南側の幅 0.2m 長さ 2m で、蓋石が 3 枚架けられていました。石棺内からは人骨とともに直刀、鉄鏃が出土しています。



市指定史跡

### 宮ヶ迫古墳 (S58.1.6 指定)

直径 14m、高さ 5.5m の墳丘を持つ古墳時代後期の円墳です。内部構造は主軸をほぼ南北にとる大型の横穴式石室で、南に開口しています。石室の規模は、全長約 9m、高さ約 2m、幅 1.45 ～ 2.1m です。出土遺物には、須恵器、土師器、銀環、碧玉製管玉、水晶製切子玉などがあり、被葬者の勢力の大きさを物語っています。



## ■文化財へのアクセス■



とうのおかこふん  
塔ノ岡古墳(安宿)



みやがさこふん  
宮ヶ迫古墳(乃美)  
本宮八幡神社(乃美)



さんのうこふんぐん  
山王古墳群(鍛冶屋)



れんきょうじ  
蓮教寺(清武)  
畷山神社(清武)



いいた  
飯田のナシ(飯田)



にが つじちゅうせいだい  
苦ノ辻中世代  
魚類化石産出層(吉原)  
※見学は要相談

## ■問合せ先

東広島市教育委員会生涯学習部文化課

TEL:082-420-0977

令和 3 年 3 月発行

## 東広島市の指定等文化財

# 豊栄町



神楽～五行祭～

## 東広島市教育委員会

市指定史跡

### 山王古墳群のうち1～3・7号古墳 (H14.2.15 指定)

山王古墳群は、山王山の頂上から北に派生する尾根の上に造られた直径約 6 ～ 18mの円墳 13 基からなる古墳群です。



このうち、第 4 ～ 6 号古墳は発掘調査が実施され、第 6 号古墳からは箱形石棺が見つかりました。石の隙間に粘土で丁寧な目張りされていたため、埋葬された成人男子の人骨が良い状態で残っており、身長が約 160 cmだったことがわかっています。それ以外に鉄器(鉄斧や鏝等)、土師器、須恵器等が見つかりました。

これらの古墳群は、当時この一帯を治めていた豪族一族のお墓であったと考えられています。

県指定天然記念物

### 畷山神社の巨樹群 (S62.12.21 指定)

畷山神社は、清武の南部、豊栄中心部の盆地を見下ろす小高い丘陵上に位置しています。境内には多くの巨樹があり、見るものを圧倒しています。その中にはツクバネガシ、ウラジロガシ、コウヤマキなど県内最大級の巨樹が含まれており、貴重な叢林を形づくっています。



県指定天然記念物

### 本宮八幡神社の社叢（S62.12.21 指定）

この社叢にはモミヤスギ、カシ類が繁り、その中によく生えるはずのシラカシが全く見えません。代わりにツクバネガシやウラジロガシが見られるなど、特徴的な自然林の面影を色濃く残しています。



県指定重要文化財

### 紙本墨書大般若経（S42.5.8 指定）※非公開

この大般若経は鎌倉時代初頭の建久元年（1190）に僧延増が集めた、平安時代中期に写経された大般若経です。延増自身によって写経されたものや、鎌倉時代以降に補われたものを含めて、その数は 600 巻にも及びます。平安時代の大般若経として市内唯一のものです。



市指定重要文化財

### 本宮八幡神社社殿（H8.10.18 指定）

この神社の本殿は、明治時代の神社合祀政策で使われなくなった稲葉巖島神社を、大正 2 年（1913）に移築したものです。明治政府の宗教政策が伺える貴重な事例です。

一方拝殿は、本来元禄 14 年（1701）に建てられた本殿でしたが、現在の本殿が稲葉巖島神社から移築されたとき、背面に通路をつけるなど改築を行い、現在の形になりました。出組と二重虹梁を最も古くから取り入れた、市内でも最大級の本殿建築です。



▲本殿（上）と拝殿（下）

県指定無形民俗文化財

### 神楽～五行祭～（S44.4.28 指定） ※写真は表紙

五行祭は、陰陽五行説を基底として組み立てられた、祭文語り形式と呼ばれる語りを中心とした神楽です。五行神楽は全国で見られるものですが、備後地方から安芸地方東部に伝来する神楽の中には、語りを主に、舞を従にする古風なものが見られ、この神楽はその代表的なものです。神楽人が手に扇を持って正座し、5～6 時間かけて長文の祭文を語ることで、四季の移り変わりや人倫道德のあり方を教えるものです。

市指定天然記念物

### 蓮教寺のアスナロ（S50.3.1 指定）

樹高 15m、胸高幹囲 3.31m を測るこのアスナロは、かつて「県下で一番大きいアスナロの木」と紹介されていたこともある大きな木ですが、それだけに落雷にも遭いやすかったようです。

落雷により枝の一部が枯れてしまい、幹を切り落としたところ、そこには少なくとも 170 の年輪があったということです。勢いはやや衰えましたが、現在も元気に葉を茂らせてます。



市指定天然記念物

### 飯田のナシ（S60.2.22 指定）

このナシの木は樹高 25m、胸高幹囲 2.86mを測り、県内でも最大級の巨樹です。樹勢も良く、毎年多くの果実を実らせませす。

ナシは植物分類学上ではバラ科で、樹皮は灰紫黒色で、小枝はときにトゲにも変わります。



市指定天然記念物

### 苦ノ辻中生代魚類化石産出層（H12.8.30 指定）

この山深い地層から約 9 千万年前（中生代白亜紀）に生息していたニシンの先祖と考えられる魚の化石が発見されました。この場所が当時、水の底だったことが分かり、9 千万年という悠久の時の流れを感じさせてくれます。（見学は文化課にご相談ください。）



▲産出層

発見された化石▶

